

2019年4月4日

4th Apr, 2019

大学院学生各位

To All Graduate Students

2019年度 基盤医学特論 開講通知 Information on Special Lecture Tokuron & Tokupro AY2019
特徴あるプログラム オミクス解析学プログラム
Omics Analysis Program

題目：次世代シーケンサーが拓く疾患パラダイム

Title : New disease paradigm with the advance of next generation sequencing technology

講師：井ノ上 逸朗 先生

(国立遺伝学研究所 人類遺伝研究室・教授)

Teaching Staff : Dr. Ituro INOUE

(Professor, Division of Human Genetics, National Institute of Genetics)



日時：2019年5月10日（金）17:00～18:30

Time and Date : 10th May, 2019 17:00-18:30

場所：基礎研究棟 第2講義室

Room : Basic Medical Research Building Lecture room No.2

概説：

次世代シーケンサーといわれるシーケンシング解析技術は医学に革命的な進歩を与えている。既にヒト全ゲノムを1000ドル以下で解析できる時代ともなっている。おかげでさまざまな形質・病気の遺伝子が同定されるようになった。一方、がんを始めとする体細胞変異も同定されるようになった。がんの診断・治療に次世代シーケンサー解析は欠かせないものとなっている。最近では1細胞ゲノミクスがトピックスであり、細胞ごとの動態をゲノムレベルで観察できるようになった。

本講義では子宮内膜症を中心に話を進めていきたい。ありふれた疾患である子宮内膜症の遺伝背景はどのようなものか、かつ関与する遺伝子多型の機能的変化について解説したい。そして、最近我々が明らかにした子宮内膜症におけるがん関連体細胞変異について、それらの変異と卵巣がんとの関連について、新知見を中心にまとめてみたい。

使用言語：日本語

Language : Japanese

関係講座・部門等の連絡担当者：神経遺伝情報学・大野欽司、システム生物学・島村 徹平（内線 1980）

Contact : Division of Neurogenetics・Kinji Ohno, Division of Systems Biology・Teppei Shimamura (ext.1980)

事前連絡は不要です。

No registration required.